

広報 **なりました** 新生成田の創造

10月 ふるさとカレンダー october

市の人口
9月1日現在()内は前月比

総人口	99,483人 (- 162)
男	50,024人 (- 152)
女	49,459人 (- 10)
総世帯	41,749戸 (- 181)



呼吸を合わせて(みんなでジャンプ)



楽しみながら沼をきれいに

ミニ動物園も開園



1 土

2005年国勢調査
祇園祭写真コンテスト
作品展示(P19)
印旛沼水質浄化月間
(31日まで)

2 日 第7回Wリーグ成田大会(午後1時30分・市体育館) フリーマーケットと再生品即売会(午前10時・リサイクルプラザ)	3 月 女性のがん検診(午後0時30分・保健福祉館) 第4次総合計画のパブリックコメント募集(P12)	4 火 女性のがん検診(午後0時30分・保健福祉館) 無料公証相談(午前9時30分・市役所2階201会議室)	5 水 不動産鑑定士による無料相談会(P18) 親子であそぼう会「ミニ運動会」(P22)	6 木 親子であそぼう会「マラカス作り」(P22) 1歳6カ月児健診(P22)	7 金 登記・法律無料相談(午前9時・市役所2階201会議室) 10カ月児育児相談(P22)	8 土 寒露 調停無料相談(午前10時・保健福祉館) 明治大学・成田社会人大学公開講座(午後2時・市役所6階大会議室)
9 日 第10回成田市フォークダンス祭(P18) 寺井尚子コンサート2005(午後6時・国際文化会館)	10 月 体育の日 市民運動会(午前8時30分・市陸上競技場)	11 火 女性のがん検診(午後0時30分・保健福祉館) 違反建築防止週間・一斉公開建築パトロール(P13)	12 水 女性のがん検診(午後0時30分・保健福祉館) 市内施設見学会(P21)	13 木 レディス・トレーニング・DAY(P20) パパママクラス(P22)	14 金 ポリオの予防接種(P22) 福祉のしごと移動相談会(午後1時・保健福祉館) 0・1歳のおはなし会(P20)	15 土 御利生祭(弦まつり)(P4) 行政書士による無料相談会(午後1時・イオン成田SC)
16 日 印旛沼クリーンハイキング(午前9時・甚兵衛公園) 鉄道の日イベント「ミニ蒸気機関車の運行」(P18)	17 月 ポリオの予防接種(P22) けんこう座談会(午後1時30分・保健福祉館)	18 火 女性のがん検診(午後0時30分・保健福祉館) のびのびシルバークンサー(P19)	19 水 女性のがん検診(午後0時30分・保健福祉館) のびのびシルバークンサー(P19)	20 木 航空機事故消防救難総合訓練(午後2時45分・成田国際空港) 青少年音楽祭(午前9時・国際文化会館)	21 金 韓国語を覚えてアンニョンハシミッカ(P20) 身体測定(P22)	22 土 健康・福祉まつり(下記) ファミリーコンサートIN玉造(P18)
23 日 霜降 県民芸術劇場「秋に奏でる月と星の名曲集」(午後2時・県立房総のむら旧学習院初等科正堂)	24 月 第16回合併協議会(午後2時・ホテル日航成田) 女性のがん検診(午後0時30分・保健福祉館) パソコン資格取得講習会(P20)	25 火 4カ月児育児相談(P22) こころの健康相談(P22)	26 水 4カ月児育児相談(P22) こころの健康相談(P22)	27 木 若年者のための就業支援「個別相談と求人案内セミナー」(P20) 季節の山野草とミニ盆栽作り教室(P21)	28 金 女性のがん検診(午後0時30分・保健福祉館)	29 土 女性のがん検診(午後0時30分・保健福祉館) 秋の文学講座(P21) 16ミリ映写機操作技術講習会(P19)
30 日 休日納税窓口(P18)	31 月 第16回合併協議会(午後2時・ホテル日航成田) 女性のがん検診(午後0時30分・保健福祉館) パソコン資格取得講習会(P20)	<p>「22・23日は健康・福祉まつり」</p> <p>市では、健康づくりや福祉の各種制度について、市民の皆さんに楽しく学び、体験していただくため、「健康・福祉まつり」を開催します。</p> <p>日時=10月22日(土)・23日(日) 午前9時~午後4時</p> <p>会場=保健福祉館</p> <p>内容=ちびっこ地球博(紙芝居など)健康づくり講演会、健康チェックコーナー、バザーなど くわしくは社会福祉課 ☎20-1536へ。</p>				

編集後記

今年で40周年を迎えた芝のバレーボール大会。昨年9月15日号の歴史玉手箱でくわしく紹介したので、ご存じの人も多いのでは。トピックス(P11)の写真をご覧になれば分かるように、決して広いとはいえない集落内の空き地に、お年寄りから子どもまで集まってバレーボールを楽しむ姿には感動してしまいます。“隣近所の人顔が誰でも分かる”という以前の農村部では当たり前だった光景がそこにあるからです。人が集まることの多い田舎の風習は簡素化の一途。しかし、その全てが無駄ではないことをこの大会が教えてくれているような気がします。